

《合併15周年記念》
久喜市の未来を語らうタウンミーティング
～住み続けたいまちの実現に向けて～

日 時 : 令和7年8月24日(日) 10時～11時15分
場 所 : 菖蒲文化会館(アミーゴ)
参加人数 : 35名

【意見交換要旨】

①. 妊婦支援給付金の手続き改善について

主な意見・提案	市長の回答(要旨)
妊婦支援給付金の手続きが本庁舎でしか行えず、菖蒲地区からの移動負担が大きいです。菖蒲保健センターでの窓口開設や受領会の実施など、身近な場所で手続きができるよう改善してほしいです。	妊産婦の皆様への支援は極めて重要であると認識しています。移動手段の制約や利便性に関する切実な声を真摯に受け止め、行政サービスを適切に維持・拡充できるよう、手続き場所のあり方について検討を進めてまいります。

②. 空き家対策の推進について

主な意見・提案	市長の回答(要旨)
空き家の増加に伴う雑草や防犯面への懸念があります。市としてどのような対策を講じているか伺います。	解体費用の補助や民間連携による「空き家バンク」の活用により、空き家の利活用を促進しています。管理不全の物件には個別対応を行いつつ、地域の協力のもとで予防策を継続します。豊かな自然や利便性といった菖蒲地区の魅力を活かし、空き家への若年層誘致など、地域活性化につながる取り組みを推進してまいります。

③. 市内における出産環境の整備について

主な意見・提案	市長の回答(要旨)
市内に分娩可能な施設がありません。若者が安心して市内で出産できるよう、環境整備に努めてほしいです。	分娩施設の誘致に向け、6,000万円の補助制度を設けて継続的に取り組んでいます。小児医療に関しては、18歳までの医療費無償化の実施や地域の医療機関が平日夜間の診療を開始しており、引き続き地域における医療提供体制の充実に努めてまいります。

④. 公共交通の改善と埼玉高速鉄道延伸の要望について

主な意見・提案	市長の回答(要旨)
菖蒲地区はバス路線が少なく、免許返納後の高齢者の移動手段に懸念があるため改善を求めます。また、埼玉高速鉄道(地下鉄7号線)の菖蒲地区への延伸を実現してほしいです。	民間バス路線は、採算性や運転手不足により維持も困難な状況であると認識しています。埼玉高速鉄道の延伸については、誘致を諦めず、菖蒲地区経由の実現に向けて継続的に取り組んでまいります。

⑤. 菖蒲地区の活性化対策と将来ビジョンについて

主な意見・提案	市長の回答（要旨）
<p>人口減少に起因する空き家や子育てなどの課題に対し、施設の統廃合といった対症療法だけでなく、根本的な人口増加策をどのように行いますか。 菖蒲地区の将来像を明確に打ち出してほしいです。</p>	<p>若年層が定住・還流する魅力あるまちづくりを目指します。 そのためには、空き家の利活用や既存宅地への新築促進を軸に、温浴施設などを備えた新ごみ処理施設や、農業・レジャーの拠点となる「道の駅」などの地域資源を最大限に活用します。 これらを地域の活性化基盤とし、持続可能な菖蒲地区の未来を描いてまいります。</p>

⑥. 農業振興拠点（道の駅）の集客戦略について

主な意見・提案	市長の回答（要旨）
<p>道の駅について、子育て世代や現役世代を惹きつけるための具体的な集客策を広くPRしてほしいです。</p>	<p>県内屈指の売上を誇る農産物直売所の強みを活かし、観光農園やドッグランなどの体験型施設を検討しています。 将来的には菖蒲パーキングエリアへのスマートインターチェンジ設置も見据え、市全体の商業者が参画したくなるような、広域から人が集まる農業・観光の拠点づくりを推進してまいります。</p>